

ICT を活用した「石狩子どもアンケート」の実施について（案）

1. ねらい

子どもたちにとって学校は、教育を受ける場であるとともに、一日の三分の一の時間を過ごす「生活の場」です。子どもたちが快適な学校生活を送り、自律的に学びに向かうことができるとともに安全・安心に通学できる環境を教職員や市教委をはじめ子どもを取り巻く大人の視点のみならず、子どもたちの視点を取り入れ、作っていくことが大切であると考えます。

以上のことをふまえ、今年度から導入されている「一人一台端末を利用した」ICT を活用した『石狩子どもアンケート』を実施したいと考えています。

2. アンケート素案

- (1) 学校での学習や学校生活を送るためにあったらいいもの、改善したらいいもの
- (2) 学校の中で危険な箇所や直してほしいもの、あったらいいもの
- (3) 学校に通学する上で危険な箇所などないか

これらは

- ① 子どもたちに今以上前向きに学校生活を送ってもらうため
- ② 子どもの目線で気づいた危険な部分や直してほしい部分を把握するため
- ③ アンケートを実施することで子どもたち自身に学校の施設・設備について考えてもらう（学校の施設・設備を大切にする気持ちを深めてもらう）

このアンケート結果によっては予算要望委員会に伝えるべき内容があるかもしれません。

3. 事務職員部会（石狩市小中学校事務職員連携会議）でとりくもうとする理由

学校教育法第 37 条 14 項の規定で事務職員は「事務に従事する」から「**事務をつかさどる**」と変更となりました。このことは私たち事務職員が今まで以上に学校運営に積極的に参画しなくてはならなくなったことと理解しています。

これまで石狩市小中学校事務職員連携会議では配当予算の計画的な執行や教材費などの保護者負担金の調査などを行い、保護者負担の公費化などをすすめ、学校財政の側面から学校運営に参画してきました。さらに学校事務職員の特性を活かした分野からの学校運営参画をすすめるためこのアンケートのとりくみを行っていかうと考えています。